

福祉サービス評価の訪問調査表(兵庫保育園)

サービス項目編

子どもの発達援助	評価	評価の根拠・コメント
(1) 発達援助の基本		
保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a	保育計画は、児童憲章・児童福祉法・保育所保育指針などの趣旨を踏まえ、週案・月案として作成している。この場合も保護者の意向も汲み取ったものとなるよう配慮している。 施設内に組織された、保育・指導計画委員会でも検討されている。
指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a	
(2) 健康管理・食事		
登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a	健康管理・予防接種・感染症・与薬・園での怪我や急病に関する取り決めが文書化されている。また、保健衛生マニュアルにより、登園時の観察や症状別の対処方法などが決められている。
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	健康診断、歯科検診の結果については、看護師が作成し書面で保護者に報告されている。 職員は、クラスごとに健康診断・歯科検診の結果を把握している。
歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	
感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a	保健所が作成した保育所用のマニュアルを活用している。 看護師により作成された、保健室だよりを掲示し流行の状況などを保護者にも伝えている。
食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	保育室とは別に食堂が用意されており、食べものに対する関心を高める様々な工夫がなされている。具体的には、その日の食材ごとの栄養表示が子どもにわかり易い表現と図柄を用いて掲示されている。 保育士も同じテーブルで、同じものを食し、食材や好き嫌いの話題をしながら楽しんで食べられる雰囲気を作られている。
子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	
子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	保育参観などを利用し、保護者の給食試食会が行われている。 施設内に組織された食育委員会で、家族アンケートを実施し家庭での食生活の状況を知る仕組みが構築されている。 給食献立が毎月家庭に配布されており、毎月の食に関する目標と、時節に合わせた食に関するメモも記されており、家庭においても食事により関心がもてるような工夫がある。
アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	アレルギー疾患をもつ子どもに対しては、医師の指示書をもとに除去食や代替食により対応するなどしている。
(3) 保育環境		
子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	採光や風通しはよく、気になる臭いや空気のおよみもない。 屋外の遊具なども、安全確保のために点検を担当する職員も決めら、チェックリストも準備されている。 空調設備は業者への清掃委託としている。また、リネンは2週間毎にクリーニングされている。
生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a	
(4) 保育内容		
子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a	子どもに対する接し方については、態度は穏やかで、言葉かけも子どもの気持ちを理解し、受容する姿勢が窺える。職員もこのことを自覚して接している。
基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a	トイレは一日の日課に沿って誘導がなされているが、その他は子どもが自主的に行けるよう努めている。 午睡はパジャマを着用しており、着脱の生活習慣も保育の中で工夫されている。 箸の使用も年齢に合わせた指導がなされ、子どもたちが馴染められる工夫として、3歳からの誕生日ごとに箸がプレゼントされている。

子どもの発達援助	評価	評価の根拠・コメント
(4) 保育内容		
子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a	子どもが自由に遊べる時間が確保されており、絵本やおもちゃ・牛乳パック を利用した積み木、ワークブック、粘土などで思い思いに遊ぶことができる。 また、午前8時半から9時半の時間は、自由保育としてクラスをまたいで自由に活動できる。
身近な自然や社会とかがわかれるような取組がなされている。	a	貸切りバスやJRを利用し、人形劇の観劇やキャンプなどに出かけ、自然や文化を体感できる行事が指導計画の中に取り入れられている。 また、こま回しなども保育の中に取り入れられている。
様々な表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	a	子どもが創った作品などを掲示するなどし、子どもの意欲と自信の助長につなげている。 生活発表会で子どもたちが作成した作品も、園内に展示し、保護者に見てもらふことにより、子どもたちの自信にも繋げることができている。
遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	a	異年齢の交流として、縦割り保育も導入されている。 場面に応じた当番活動などにより、子どもが役割を果たせるような取り組みがある。 年長の子もたちが、0歳児のお世話をする場面が用意され、人間関係や思いやりの気持ちが育まれている。
子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮されている。	a	子どもの人権擁護に関する研修会等には、積極的に参加し、子どもの人権に対する理解に努めている。 アレルギーによる代替食の提供される場面でも、互いを尊重した指導がなされており、人権に対する配慮や尊重する心を育てる姿勢が窺える。
性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮されている。	a	全ての場面で男女を分けた行動や保育は行われていない。 グルーブッキングの調理体験などにおいて、男女一緒に行うことで分業意識をなくす事にも繋げている。
乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	気候が良い日には、散歩に出かけたり、ベランダで外気に触れるようにしている。 便の処理は保育園で行っているが、便状態によっては、保護者に確認してもらうなど、家庭とも連携をとりながら一人ひとりに合わせた保育に努めている。
長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	長時間の保育で、子どもが不安がったりしないよう職員の気配りが窺え、テレビやビデオを利用するだけでなく、おもちゃを利用したり保育士との関わりを持てるよう努めている。 夕方には自然食品のおやつも準備されている。
障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	c	ハード面での受け入れ体制は整えられているが、ソフト面で受け入れが可能かどうかそのノウハウを含め職員自信の不安を抱いており、現在のところ障害児保育を実施するまでには至っていない。
子育て支援		
(1) 入所児童の保護者の育児支援		
一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a	年長児の保護者とは年2回の面談を実施している。また、2月には、希望面談会も実施しており、その際には健康面に関する相談にも対応できるよう看護師も対応できる体制である。面談結果については、特段の記録は残されていないため、継続的な保育を図るため必要に応じ記録することも求められる。
家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a	
子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a	
虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a	児童虐待・早期発見対応のためのマニュアルが整備されており、虐待が疑われるような場合には、その情報が園長まで届くシステムが確立している。
虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所 などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a	
(2) 一時保護		
一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a	一時保育は事前に面談を行い、健康面やアレルギー等の心身の状態が把握されている。さらに、一時保育当日の体調調べを行い、通常保育の中で、受け入れている。

安全・事故防止	評価	評価の根拠・コメント
(1) 安全・事故防止		
調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a	保健衛生マニュアルが整備し、チェックリストを活用するなど衛生管理の実施システムが確立している。
食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a	保育施設における感染症予防マニュアルが用意され、さらに、施設内に組織された保健・衛生・食育委員会で、対応方法や職員研修のあり方などが検討されている。
事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a	ヒヤリ・ハット委員会が設置され、事故防止策の実施状況や実効性について検討されている。
事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	事故・災害を想定した危機管理マニュアルや、不審者対応マニュアルが整備されて、対応フローや訓練が実施されている。職員への周知も徹底されており、継続した研修や関係機関との連携強化に努めている。不審者対策とし、玄関には防犯カメラが設置され、各クラスには、防犯ブザーと笛も備え付けられている。
不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	